

平成27年度

南アルプス国立公園
ニホンジカ対策再検討業務報告書

平成28年3月

環境省 関東地方環境事務所

目 次

I. 業務概要	1
1. 業務目的	1
2. 業務内容	1
(1) 既存データのとりまとめ・関係機関による実施対策のレビュー.....	1
(2) 検討会の開催	1
(3) 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針（見直し素案）の提示.....	2
(4) 高山帯に影響を及ぼすニホンジカ個体数削減に 向けた方向性の整理資料作成.....	2
(5) 業務打ち合わせ.....	2
II. 既存データのとりまとめ・関係機関による実施対策のレビュー	3
1. 目的	3
2. 方法	3
(1) 情報収集	3
(2) 情報整理	3
3. 結果	3
(1) 平成23～26年度における実施対策のレビュー.....	3
(2) ニホンジカ対策実施状況に関する評価と課題.....	37
III. 検討会の開催	47
1. 南アルプス国立公園ニホンジカ対策検討会.....	47
(1) 検討会の設置	47
(2) 検討会の開催状況.....	47
2. シカ管理手法検討グループ会議.....	69
(1) グループ会議の設置.....	69
(2) グループ会議の開催状況.....	69
IV. 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針（見直し素案）の提示	77
1. 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針（見直し素案）の作成経緯.....	77
(1) 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針.....	77
(2) 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針 別紙.....	78
(3) 見直し素案全体を通じた意見.....	79
2. 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針（見直し素案）作成.....	80

V. 高山帯に影響を及ぼす	
ニホンジカ個体数削減に向けた方向性の整理資料作成	97
1. 高山帯に影響を及ぼすニホンジカ個体数削減を目指した方向性の整理	97
(1) 既存資料の整理	97
(2) 南アルプス国立公園における捕獲方法及び実証試験捕獲	100
2. 平成28年度から着手する実施計画案の検討・作成	104
VI. 引用・参考文献	108
資料	119

I. 業務概要

1. 業務目的

南アルプスは、3,000m級の山々が連なる日本を代表する山岳地域である。その主要部分を占める高山・亜高山帯には、厳しい自然環境に適応した生物が生息しており、それらには氷河期の遺存種や固有種も多く、生物多様性保全の観点からも重要な地域である。

しかし、近年のニホンジカによる高山・亜高山帯への影響は、1990年代末からいわゆる「お花畑」への影響が報告されるようになり、その後、急速に拡大し、深刻化している。また、そこを生息場所とする動物へも影響を与え、高山・亜高山帯の生態系へ与える影響は多大なものとなっている。南アルプスにおいては、ニホンジカによる生態系への影響を防止するために早急な対策の実施が必要であるとともに、今後、影響の拡大防止、植生攪乱地の維持・回復、並びに再発防止のための広域的なシカ個体数管理体制の構築といった中長期的に総合的対策を進めることが重要となっている。

このため、関係行政機関等と協力・連携して、平成23年3月に「南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針」を、9月には「南アルプス生態系維持回復事業計画」を策定し、これらに基づき、捕獲事業や防鹿柵・植生保護復元施設の設置、モニタリング調査等の対策を実施してきているが、ニホンジカによる影響が収束してきたとは未だ言い難い状況にある。

以上の現状認識のもと、本業務では、主に平成20年以降に南アルプスにおいて実施された高山植生及びニホンジカ関連の調査報告書等を踏まえ、高山帯に影響を及ぼすニホンジカ捕獲に向けた方向性について検討すると共に、策定から5年が経過する「南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針」の見直しを目標とした総合的なシカ対策の再検討を行うことを目的とした。

2. 業務内容

(1) 既存データのとりまとめ・関係機関による実施対策のレビュー

関係行政機関による現行の実施対策について、環境省担当官が貸与する過年度の南アルプスにおける関係行政機関の取組の資料及び関係行政機関へのヒアリング等から、実施主体・開始年度・予算措置・対象範囲・対策内容・実施状況等についてレビューした。また、これまでの業務によって収集されたデータ及び既存資料等から検討に必要なニホンジカの動向、高山植物等に与える影響及び防鹿柵内外の植生状況等について、その傾向や状況についてとりまとめ、現地状況・傾向と対比させた資料を整理した。

(2) 検討会の開催

南アルプスの現状等に詳しい有識者7名を検討委員として招聘し、検討会を3回開催した。検討会の開催にあたり、日程調整、検討委員及び必要に応じて関係行政機関等への出席依頼・連絡、会場設定・準備、既存データのとりまとめ・関係機関による実施対策のレビュー等の資料を含む検討会資料の作成・当日準備、議事録の作成等、検討会の開催に伴い必要

な業務を行った。

(3)南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針(見直し素案)の提示

検討会において検討された内容を取りまとめ、その結果を踏まえ、南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針見直し素案の作成・提示を行った。

(4)高山帯に影響を及ぼすニホンジカ個体数削減に向けた方向性の整理資料作成

平成24年度から平成26年度に実施した、高山帯におけるニホンジカ捕獲方法の検討並びに捕獲実証試験の結果、及び検討会において検討された結果を踏まえ、高山帯に影響を及ぼすニホンジカ個体数の削減を目指した方向性を整理するとともに、平成28年度から環境省において着手する実施計画案を検討・作成した。

(5)業務打合せ

本業務について環境省担当官と打合せを行い、その記録をまとめた。

Ⅱ. 既存データのとりまとめ・関係機関による実施対策のレビュー

1. 目的

南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針の見直し素案の検討を行うため、関係機関による現行の実施対策をレビューし、また既存データ等からとりまとめた資料を整理することを目的とした。

2. 方法

(1) 情報収集

平成20年度以降に環境省が請負業務として発注した南アルプス国立公園の植生保全やニホンジカ対策についての業務報告書及び、林野庁、関係自治体等が南アルプス国立公園及び周辺地域で実施した植生やニホンジカ対策の業務報告書等を収集した。その一覧を表Ⅱ-1に示した。

(2) 情報整理

環境省から貸与された平成23年度以降の南アルプスにおける関係行政機関の取組の資料及び関係行政機関へのヒアリング等から、実施主体・開始年度・予算措置・対象範囲・対策内容・実施状況等についてレビューした。また、これまでの業務によって収集されたデータ及び既存資料等から検討に必要なニホンジカの動向、高山植物等に与える影響及び防鹿柵内外の植生状況等について、その傾向や状況についてとりまとめ、現地状況・傾向と対比させた資料を整理した。

3. 結果

(1) 平成23～26年度における実施対策のレビュー

平成23～26年度における各機関が実施した植生やニホンジカの生息状況、個体数管理、防鹿柵、土壌浸食等への対策、希少植物の生息域外保全、普及啓発の分野ごとに表Ⅱ-2-1～7にまとめた。また、これらの対策実施箇所を図化し、図Ⅱ-2-1～7に示した。

表Ⅱ－１ 南アルプス国立公園及び周辺地域で実施された植生やニホンジカ対策についての収集文献等一覧（１）

著者・編者	発行年	書名
新井和也	2011	シカによる生物多様性の危機 南アルプスに見る被害と対策の現在. 山と溪谷:2011年1月号, 96-103
荒木良太・横山典子	2011	ニホンジカが生物多様性に与えるインパクト～不可逆的影響の現状とその取り組み～. 2010年度大会自由集会記録, 哺乳類学会:51(1), 201-204
広瀬和弘	2011	楡形山にアヤマ戻る. JAFPA News:66, 5, NPO法人日本高山植物保護協会
伊井和美	2011	南アルプスをシカの食害から守るため環境省と山梨、静岡、長野3 県の自治体で連絡会を設置. JAFPA News:65, 3, NPO法人日本高山植物保護協会
飯田市	2012	平成23年度環境レポート 第3章各分野別の施策の状況 3.緑の保全と創出 [特集] 兎岳お花畑保全の取り組み https://www.city.iida.lg.jp/uploaded/attachment/1252.pdf
泉山茂・望月敬史・瀧井暁子	2009	南アルプス北部の亜高山帯におけるニホンジカ (Cervus nipon) のGPSテレメトリーによる行動追跡. 信州大学農学部AFC報告:7, 63-71
泉山茂之・望月敬史	2008	南アルプス北部の亜高山帯におけるニホンジカ (Cervus nipon) の季節的環境利用. 信州大学農学部AFC報告:6, 25-32
飯島勇人	2011	山梨県のニホンジカ個体群の齢構成と妊娠率. 山梨県森林総合研究所研究報告:30, 1-3
飯島勇人	2012	山梨県の牧場とその周辺の森林におけるニホンジカの出没状況. 山梨県森林総合研究所研究報告:31, 9-12
飯島勇人	2014	北沢峠の森林とのり面におけるニホンジカの出没状況. 山梨県森林総合研究所研究報告:33, 1-4
飯島勇人	2015	2014年に山梨県で発生した大雪がニホンジカの動態に与えた影響. 山梨県森林総合研究所研究報告, 35: 5-10.
Iijima, H. and Nagaike, T.	2015	Susceptible conditions for debarking by deer in subalpine coniferous forests in central Japan. Forest Ecosystems 2: 33.
飯島勇人・長池卓男	2014	南アルプス国立公園の亜高山帯針葉樹林におけるニホンジカの影響. JAFPA News:74, 2-3, NPO法人日本高山植物保護協会
飯島勇人・長池卓男	2015	亜高山帯針葉樹林の更新動態にニホンジカが与える影響～防鹿柵設置5年後の比較から～. 山梨県森林総合研究所研究報告, 35: 1-4.
い～な 上伊那	2015	南アルプス高山植物保護ボランティアに行ってきました。(ブログ記事:2015.09.15) http://blog.nagano-ken.jp/kamiina/nature/17030.html
伊那谷ねっと(Web News)	2014	南アルプス国立公園指定50周年記念特集④ (http://inamai.com/www/ictnews/detail.jsp?id=36883)
伊那谷ねっと(Web News)	2015a	南アの食害 原状には戻らず (http://inamai.com/www/ictnews/detail.jsp?id=40881)
伊那谷ねっと(Web News)	2015b	高遠中学校2年生 仙丈ヶ岳登山前にニホンジカについて学習会 (http://inamai.com/www/ictnews/detail.jsp?id=41143)
亀井忠文	2010	山梨県における絶滅危惧植物の保全や増殖技術の確立とそれを教材とする農業高等学校における学習指導法の開発に関する研究(修士論文), 144p.
亀井忠文	2013	タカネマンテマおよびタカネビランジ種子の発芽特性の解析. 山梨県総合理工学研究機構研究報告書:8, 25-28
環境省	2001	平成13年度国立公園民間活用特定自然環境保全活動事業(グリーンワーカー事業)一覧表

表Ⅱ－１ 南アルプス国立公園及び周辺地域で実施された植生やニホンジカ対策についての収集文献等一覧（２）

環境省	2013	中央環境審議会自然環境部会 第26回自然公園小委員会. 資料2 生態系維持回復事業の実施状況
環境省関東地方環境事務所	2012	平成23年度南アルプス国立公園ニホンジカ対策検討調査業務報告書
環境省関東地方環境事務所	2013a	平成24年度南アルプス国立公園ニホンジカ捕獲方法検討業務報告書
環境省関東地方環境事務所	2013b	平成24年度南アルプス国立公園ニホンジカ対策モニタリング調査業務報告書
環境省関東地方環境事務所	2014a	平成25年度南アルプス国立公園高標高地域におけるニホンジカ捕獲実証試験業務報告書
環境省関東地方環境事務所	2014b	平成25年度南アルプス国立公園ニホンジカ対策モニタリング調査業務報告書
環境省関東地方環境事務所	2015a	平成26年度南アルプス国立公園高標高地域におけるニホンジカ捕獲実証試験業務報告書
環境省関東地方環境事務所	2015b	平成26年度南アルプス国立公園ニホンジカ対策モニタリング調査等業務報告書
環境省自然環境局	2009	平成20年度南アルプス国立公園高山植物等保全対策検討業務報告書
環境省自然環境局	2010	平成21年度南アルプス国立公園ニホンジカ対策検討業務報告書
環境省自然環境局	2011	平成22年度南アルプス国立公園ニホンジカ対策検討業務報告書
環境省自然環境局		南アルプス生態系維持回復事業計画
片桐勝彦	2011	伊那谷支部 活動報告. JAFPA News:65, 6, NPO法人日本高山植物保護協会
片桐勝彦	2011	伊那谷支部 活動報告. JAFPA News:66, 8, NPO法人日本高山植物保護協会
岸元良輔・伊藤武・今井翔	2012	「長野県飯伊地区シカ対策協議会」による下伊那地域におけるニホンジカ (Cervus nipon) のライトセンサス調査. 長野県環境保全研究所研究報告:8, 37-41
小俣謙	2011	山梨県におけるニホンジカ対策の現状. JAFPA News:66, 3-4, NPO法人日本高山植物保護協会
増澤武弘	2008	南アルプスお花畑と氷河地形. 158p., 静岡新聞社.
増沢武弘・富田美紀・長谷川裕彦	2008	南アルプス荒川岳南東面における氷河地形と植物群落. 日本生態学会誌58, 191-198
南アルプス芦安山岳館	2012	南アルプス登山史を語る. 日本山岳会「山:8月号 http://huhac.com/topix1208.pdf
南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会(Web page)	2012	長谷中学校 活動の様子を紹介します (http://minamialps-ntl-geo.jp/topics186.html)
南アルプス国立公園指定50周年記念事業	2014	南アルプス国立公園と関連する取組について. 南アルプス国立公園指定50周年記念誌.,97-122
南アルプス高山植物等保全対策連絡会	2011	南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針
南アルプス世界自然遺産登録長野県連絡協議会 学術調査検討委員会	2009	南アルプス学術文献調査報告書(第1次). 23p+文献リスト78p
南アルプス世界自然遺産登録推進協議会	2011	南アルプス通信第:23号 http://www.minamialps-wh.jp/cms_images/data_data1/1815.pdf
南アルプス世界自然遺産登録推進協議会	2013	南アルプスの世界自然遺産登録に向けた要望書. 11p
世界自然遺産登録推進協議会・南アルプ	2010	南アルプス学術総論. 145p.
南アルプス食害対策協議会		高山植物が危ないーシカの脅威ー(リーフレット)
南信州新聞(web news)	2010	兔岳でシカ食害対策、今月末に防護柵を設置 (http://minamishinshu.jp/news/society/兔岳でシカ食害対策、今月末に防護柵を設置.html)

表Ⅱ－１ 南アルプス国立公園及び周辺地域で実施された植生やニホンジカ対策についての収集文献等一覧（３）

宮澤泰子	2011	荒川岳の新たな高山植物保護活動はじまる. JAFPA News:64, 2, NPO法人日本高山植物保護協会
水野一晴	2013	南アルプスの「お花畑」における30年間の植生変化とシカ害. 2013年度日本地理学会春季学術大会発表要旨集
望月照夫	2012a	防鹿柵に係る提案. JAFPA News:68, 3-4, NPO法人日本高山植物保護協会
望月照夫	2012b	第3回南アルプス100人会議に思う. JAFPA News:67, 2-4, NPO法人日本高山植物保護協会
望月照夫	2015	静岡支部活動報告. JAFPA News:76, 9-10, NPO法人日本高山植物保護協会
元島清人	2009	林業動静年報森林保全・環境編「南アルプスにおけるシカ食害の現状」. 山林:1503, 64-69
元島清人	2010	南アルプスにおけるシカ被害. 植生情報:14, 13-17
長野日報(Nagano Nippo Web)	2009a	地域：釜無ホテイアツモリソウの無菌培養育苗 地元中学生が協力し移植 (http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=14568)
長野日報(Nagano Nippo Web)	2009b	地域：釜無ホテイアツモリソウ無菌培養苗の里親組織が発足 (http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=14336)
長野日報(Nagano Nippo Web)	2010	社会：防護柵が植生復元に効果 伊那で南ア鹿対策シンポ (http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=17363)
長野日報(Nagano Nippo Web)	2013	社会：釜無ホテイアツモリソウ 自生の株8年で9倍 (http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=29868)
長野日報(Nagano Nippo Web)	2014a	社会：外来植物の拡大防げ 食害対策協が南アで繁殖実態調査と除去 (http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=31994)
長野日報(Nagano Nippo Web)	2014b	地域：アツモリソウ研究が評価 上農バイオテック班が山形県知事賞 (http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=32043)
長池卓男	2010	今、南アルプス白根三山周辺で起きていること ニホンジカの影響. JAFPA News:62,2-3, NPO法人日本高山植物保護協会
Nagaike, T.	2012	Effects of browsing by sika deer (<i>Cervus nipon</i>) on subalpine vegetation at Mt. Kita, central Japan. <i>Ecological Research</i> :27, 467-473
長池卓男	2014	ニホンジカを巡る課題. 森研情報:41,2-3
長池卓男	2015	2014年度南アルプス高山植物等保全対策連絡会資料
長池卓男・飯島勇人	2013	亜高山帯植生におけるニホンジカ摂食からの保全優先度の検討. 日本生態学会第60回全国大会講演要旨
長池卓男・飯島勇人・大津千晶・松崎誠司	2014	南アルプス国立公園北岳周辺におけるニホンジカの樹木への剥皮の状況. 山梨県森林総合研究所研究報告:33, 5-8
長池卓男・西川浩己・飯島勇人・北原正彦・杉田幹夫・中野隆志・土橋宏司・亀井忠文・横川昌史・井鷲裕司・中村健一・会田秀樹・竹田謙一	2013	南アルプスにおけるニホンジカによる高山植物への影響と保護対策および個体数管理に関する研究. 山梨県総合理工学研究機構研究報告書:8, 7-12
Nagaike,T.,Ohkubo,E.,and Hirose,K.	2014	Vegetation Recovery in Response to the Exclusion of Grazing by Sika Deer (<i>Cervus nipon</i>) in Seminalural Grassland on Mt. Kushigata, Japan. <i>ISRN Biodiversity Volume 2014, Article ID 493495, 1-7</i>

表Ⅱ－１ 南アルプス国立公園及び周辺地域で実施された植生やニホンジカ対策についての収集文献等一覧（４）

長池卓男・大津千晶・飯島勇人	2016	ニホンジカの影響を受けた山梨県楡形山の半自然草原における植生復元. 水利科学, 347: 109-120.
長野県上伊那農業高等学校	2010	(財)長野県学校科学教育奨励基金 研究結果報告書:アツモリソウ属植物の種子発芽及びプロトコーム肥大に最適な培地はなにか. 10p
長野県	2012	第3期特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)(平成23年3月(平成24年10月変更))
長島隆康	2015	山梨県におけるニホンジカの生息. JAFPA News:78, 6-7, NPO法人日本高山植物保護協会
中村仁	2015	南アルプス自然保護官事務所の業務について. JAFPA News:76, 2-3, NPO法人日本高山植物保護協会
中山厚志	2015	南アルプスのシカの食害. JAFPA News:76, 13, NPO法人日本高山植物保護協会
日本植生学会企画委員会	2011	ニホンジカによる日本の植生への影響ーシカ影響アンケート調査(2009～2010)結果ー. 植生情報:15, 9-96
NPO法人芦安ファンクラブ	2008	芦安ファンクラブ通信 32号
NPO法人芦安ファンクラブ	2011a	芦安ファンクラブ通信 42号
NPO法人芦安ファンクラブ	2011b	芦安ファンクラブ通信 43号
NPO法人芦安ファンクラブ	2012a	芦安ファンクラブ通信 45号
NPO法人芦安ファンクラブ	2012b	芦安ファンクラブ通信 46号
NPO法人芦安ファンクラブ	2014	芦安ファンクラブ通信 54号
大場孝裕・大橋正孝・大竹正剛・山田晋也・片井祐介・石川圭介・伊藤愛	2013	南アルプス南部におけるGPS首輪を用いたニホンジカの行動特性の解明. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会講演要旨集, p.108
大場孝裕・大橋正孝・山田晋也・片井祐介・石川圭介・伊藤愛	2014	南アルプス南部の高標高域を利用するニホンジカの季節移動要因. 日本生態学会2014年大会ポスター資料
大場孝裕・大橋正孝・片井祐介・石川圭介・山田晋也	2015	静岡県森林・林業研究センター 単年度試験研究成績 課題名:8-6-2 南アルプス(千枚)でのニホンジカ行動追跡
大場孝裕・大橋正孝・山田晋也・大竹正剛	2015	硝酸塩経口投与によるニホンジカ捕獲. 日本生態学会2015年大会ポスター発表資料
静岡県	2013	平成24年度南アルプス調査業務委託(植生調査)
静岡県	2014	平成25年度南アルプス調査業務委託(植生調査)
静岡県	2015a	平成26年度南アルプス調査業務委託(植生調査)
静岡県	2015b	特定鳥獣保護管理計画(変更)(ニホンジカ)(第3期)(平成24年4月(平成27年3月27日変更))
静岡新聞アットエス(Web News)	2014	南アルプスの植物どう守る 高校生、防鹿柵設置 (http://www.at-s.com/news/article/topics/shizuoka/9745.html)
清水准一	2011	地元 芦安中学生の試みー北岳,草すべりの防鹿柵設置ー. JAFPA News:66, 6-7, NPO法人日本高山植物保護協会
清水准一	2014	北岳の固有種 キタダケソウの保護活動. JAFPA News:73, 4-5, NPO法人日本高山植物保護協会
信州大学先鋭領域融合研究群山岳科学研究所	2015	スペシャルコンテンツ ニホンジカは、なぜアルプスの高山帯を目指すのか http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/ims/special-contents.html
塩沢久仙	2014	キタダケソウ保護の為に有意義に活用された環境協力金ー南アルプス山岳交通適正化協議会の取り組みー. JAFPA News:73, 6, NPO法人日本高山植物保護協会
静岡県県民部環境局自然保護室	2008	県庁だより「南アルプスの高山植物保護」. 森と人:308, 6, 社団法人静岡県山林協会

表Ⅱ－１ 南アルプス国立公園及び周辺地域で実施された植生やニホンジカ対策についての収集文献等一覧（５）

静岡市山岳連盟(Web)	2009	やれば出来る！南アルプス植生保護活動. 岳翔プレス2009年7月26日付け記事 http://outdoor.geocities.jp/hiziridake_office/pressback.html
静岡市山岳連盟	2006	岳翔プレス2006:6 開催報告8月18～20日「南アルプス高山植物保護セミナー」
静岡市 Web	2014	(http://www.shizutan.jp/mt/mt-search.cgi?search=南アルプス高山植物保護セミナー&IncludeBlogs=3&search.x=0&search.y=0)
杉山啓子	2015	「ピロードモウズイカ」除去作業. JAFPA News: 76, 7, NPO法人日本高山植物保護協会
富山 裕一	2012	伊那市のニホンジカに対する取組み. JAFPA News:67, 4, NPO法人日本高山植物保護協会
中部森林管理局	2007	平成18年度南アルプスの保護林におけるシカ被害調査報告書 南アルプス北部の保護林内. 109p
中部森林管理局	2008	平成19年度南アルプスの保護林におけるシカ被害調査報告書 南アルプス南部の保護林内. 107p
中部森林管理局	2010	現地情報報告書平成22年12月3日
中部森林管理局	2013a	現地情報報告書平成25年8月22日
中部森林管理局	2013b	平成24年度中部森林管理局におけるニホンジカ被害対策の取り組み状況. 広報「中部の森林」第106号, 6-7 http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/koho/koho_si/pdf/130104_3.pdf
中部森林管理局ニホンジカ被害対策プロジェクトチーム	2012	平成24年度鳥獣被害対策(ニホンジカ)職員アンケート調査報告書. 21p
中部森林管理局ニホンジカ被害対策プロジェクトチーム	2014	平成25年度鳥獣被害対策(ニホンジカ)アンケート調査報告書 対象者:職員+入林者. 23p
上野真由美・梶光一・飯島勇人・浅田正彦	2012	ニホンジカにおける密度依存性と環境収容力. 2011年度大会自由集会記録, 哺乳類科学52(1), 139-142
鵜飼一博	2009a	南アルプスにおける植生復元活動(第五報). JAFPA News:59,8-9, NPO法人日本高山植物保護協会
鵜飼一博	2009b	南アルプスにおける植生復元活動(第六報). JAFPA News:60,8-9, NPO法人日本高山植物保護協会
鵜飼一博	2010a	南アルプスにおける植生復元活動(第八報). JAFPA News:62,6-7, NPO法人日本高山植物保護協会
鵜飼一博	2010b	南アルプスお花畑における防鹿柵の設置. 植生情報:14, 21-27
鵜飼一博	2011a	ニホンジカが森林生態系に与える影響. 森林科学:61, 21-24
鵜飼一博	2011b	南アルプスにおける植生復元活動(第十報). JAFPA News:64, 6-7, NPO法人日本高山植物保護協会
鵜飼一博	2011c	南アルプスにおける植生復元活動(第十一報). JAFPA News:65, 4-5, NPO法人日本高山植物保護協会
鵜飼一博	2012	南アルプスにおける植生復元活動(第十二報). JAFPA News:67, 5-6, NPO法人日本高山植物保護協会
NPO法人日本高山植物保護協会	2012	平成23年度希少植物の生育地における巡視活動「環境省・平成23年度国内希少種の生育地における違法採取監視等業務報告書」より. JAFPA News:69, 7-9
渡邊修・彦坂遼・草野寛子・竹田謙一	2012	仙丈ヶ岳におけるシカ防除柵設置による高山植生の回復効果. 信州大学農学部紀要48(1-2), 17-27
山梨県	2015	山梨県第二種特定鳥獣(ニホンジカ)管理計画(平成27年5月)
山梨県立大学地域研究交流センター	2014	山梨県立大学 観光講座 2013「南アルプスの自然と文化」. 88p
山梨県森林総合研究所	2013	森林情報40.
山梨県森林総合研究所	2014	森林情報41.
山梨県森林総合研究所	2015a	シンポジウム 南アルプス高山帯のニホンジカとどうつきあうか 資料(2015年9月2日、やまなしプラザ オープンスクエア東面)

表Ⅱ－１ 南アルプス国立公園及び周辺地域で実施された植生やニホンジカ対策についての収集文献等一覧（６）

山梨県森林総合研究所	2015b	山梨県森林総合研究所研究課題成果「ニホンジカの森林生態系に及ぼす影響と適切な管理手法の開発」. 12p.
山崎由晴	2014	南アルプス北部(北荒川岳～間ノ岳)の高山植物に関して. JAFPA News:73, 2-3, NPO法人日本高山植物保護協会
横田岳人	2011	ニホンジカが森林生態系に与える負の影響—吉野熊野国立公園大台ヶ原の事例から—. 森林科学61, 4-10
横川昌史・長池卓男・西川浩己・井鷲裕司	2012	北岳に生育するミヤマハナシノブ全4集団における遺伝的多様性と遺伝構造. 山梨県総合理工学研究機構研究報告書第7号, 59-62
吉村綾・北原曜・小野裕	2011	南アルプス高山域におけるシカの個体数増加が土壌侵食に及ぼす影響. 砂防学会平成23年度神奈川大会研究発表会概要集, 46-47
財団法人自然保護助成基金	2009	高山・山地におけるシカ過食圧問題への対策事例. 31p

表Ⅱ-2-1 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 一生態系の状況把握及び監視(植物相及び植生の監視)(H23-H24)一

○平成23年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
山梨県森林総合研究所	白根御池～北岳山荘	7月	1×2mの植生調査区での摂食状況把握	摂食状況のモニタリング	この時期の摂食の影響は全体的に大きい、その後の摂食は場所が限定される(右俣上部)
	白根御池～大門沢	7～10月	10×40mの森林調査区での樹木への影響把握	摂食状況のモニタリング	4年前と比較して、全体的に剥皮は増加していた(特に、ダケカンバ林内でのモミ属、落葉広葉樹林内のカエデ属やニシキギ科)
	白根御池～小太郎分岐～二俣	7～8月	1×1mの植生調査区での摂食状況把握	摂食状況のモニタリング	2年前と比較して、摂食の影響は軽減されていない
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	聖平		防鹿柵内外の植生調査(写真撮影・出現種の記録等)	植生回復状況把握	
	茶臼小屋		防鹿柵内外の植生調査(写真撮影・出現種の記録等)	植生回復状況把握	
	三伏峠		防鹿柵内外の植生調査(写真撮影・出現種の記録等)	植生回復状況把握	
静岡市 清流の都創造課	ヘリによる植生及びシカ生息確認調査		写真及び目視	保護活動(対策手法や優先度)への反映	
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大調査チームへの委託による。	ニホンジカの食害から高山植物を守るための、行動調査とともに効率的な個体数調整の方法の検討。生物多様性の維持、裸地化による土砂流出が及ぼす防災上の問題の検討等。	植物チーム 植生の回復調査 治山チーム 食害が及ぼす土砂流出等 生物多様性チーム 食害が及ぼす他の動植物への影響調査 動物チーム ニホンジカの行動及び個体数調整の方法の検討等

○平成24年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
環境省 関東地方環境事務所	荒川岳西カール	7月～8月	植生調査(2m×2mの方形枠を柵内外にそれぞれ12個程度、計24個程度設置)	防鹿柵内外の植生の把握及び変化についてモニタリング	柵外に設置した1区画でのみ、ハクサンイチゲの一部が被食。その周辺でニホンジカのフンが確認。
山梨県森林総合研究所	白根御池～北岳山荘	7月	1×2mの植生調査区での摂食状況把握	摂食状況のモニタリング	この時期の摂食の影響は全体的に大きい、その後の摂食は場所が限定される(右俣上部)
	白根御池～大門沢	7～10月	10×40mの森林調査区での樹木への影響把握	摂食状況のモニタリング	4年前と比較して、全体的に剥皮は増加していた(特に、ダケカンバ林内でのモミ属、落葉広葉樹林内のカエデ属やニシキギ科)
	白根御池～小太郎分岐～二俣	7～8月	1×1mの植生調査区での摂食状況把握	摂食状況のモニタリング	2年前と比較して、摂食の影響は軽減されていない
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	聖平周辺、茶臼岳、三伏峠	7月	ブラウン・ブランケの被度階級区分法他	植生回復状況の把握	別紙のとおり
静岡市 清流の都創造課	ヘリによる植生及びシカ生息確認調査	2回/年(8月、11月)	写真及び目視	保護活動(対策手法や優先度)への反映	天候の状況による確認頻度のちがひ
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大調査チームへの委託による。	ニホンジカの食害から高山植物を守るための、行動調査とともに効率的な個体数調整の方法の検討。生物多様性の維持、裸地化による土砂流出が及ぼす防災上の問題の検討等。	植物チーム 植生の回復調査 治山チーム 食害が及ぼす土砂流出等 生物多様性チーム 食害が及ぼす他の動植物への影響調査 動物チーム ニホンジカの行動及び個体数調整の方法の検討等

表Ⅱ－2－1 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 －生態系の状況把握及び監視(植物相及び植生の監視)(H25)－

○平成25年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
環境省 関東地方環境事務所	仙丈ヶ岳(防鹿柵内外) 北岳右俣上部(防鹿柵内外)	8月	植生調査 仙丈ヶ岳(2m×2mの方形柵を 柵内23箇所、柵外14箇所) 北岳(2m×2mの方形柵を 柵内15箇所、柵外15箇所)	防鹿柵内外の植生の把握及び変化についてモニタリング	柵外に設置した0区画でのみ、ハクサンイチゲの一部が被食。その周辺でニホンジカのフンが確認。
山梨県森林総合研究所	草すべり・右俣周辺、鳳凰三山(辻山～地藏ヶ岳)	5月～10月	摂食状況を把握するための植生調査を行う	ニホンジカがどの植生タイプをどの程度摂食しているのかを明らかにする。	
山梨県森林総合研究所	広河原	7月、9月	登山者にアンケート調査を行う。	ニホンジカの影響に関する登山者等の意識を把握する。	4年前と比較して、全体的に剥皮は増加していた(特に、ダケカンバ林内でのモミ属、落葉広葉樹林内のカエデ属やニシキギ科)
静岡県 ぐらし・環境部 環境局 自然保護課	茶臼岳、聖平周辺、三伏峠	6月～8月	ブラウン・ブラウンケの被度階級区分法	防鹿柵内の植生調査	
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	楡形地区上宮地、曲輪田地区他	4月～	痕跡調査とGPS、センサーカメラの設置	上宮地、曲輪田地区は年4回の実地。対象地区内に径10mのサークル内で食痕や痕跡を調査(110Pt)	
静岡市 清流の都創造課	ヘリによる植生及びシカ生息確認調査	8月(11月は天候不順により中止)	写真及び目視	消防ヘリにより、上空から目視・写真により前年との比較により食害等の進行状況等を調査した。	調査実施が天候に強く影響される。
大鹿村 産業建設課	小洪川・青木川・塩川源流域	4月～2月	里山から亜高山帯への実施調査	村内700m～2,000m級までの植生調査	
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大農学部への委託による。	ニホンジカの食害の実態調査と、行動調査。高山植物等を絶滅させないための対策等。食害エリアにおける高山植生回復のための管理手法の取り組み等。	

表Ⅱ-2-1 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 ー生態系の状況把握及び監視(植物相及び植生の監視)(H26)ー

○平成26年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
環境省 関東地方環境事務所	北岳右俣上部(防鹿柵内外)	8月	植生調査 北岳(2m×2mの方形枠を 柵内31箇所、柵外31箇所)	防鹿柵内外の植生の把握及び変化についてモニタリング	右俣柵外で、シカ糞や土壌流出が見られ、食痕も確認された。被食度、出現種数については、柵内外の差は見られなかった。
				南アルプス全域の影響モニタリングに向けた資料収集および調査内容の検討	ヒアリング結果から、現状の対策方針(別紙)に記載のあるランク付けから状況が異なっている場所がある。 (詳細の資料及び内容は整理中)
山梨県森林総合研究所	北沢峠	10×20m×6基(3基標高2000m、3基標高2500m)	プラスチック製植生保護柵(通年設置)	植生への摂食圧の把握	
	草すべり・右俣周辺、鳳凰三山(辻山～地藏ヶ岳)	5月～10月	摂食状況を把握するための植生調査を行う	ニホンジカがどの植生タイプをどの程度摂食しているのかを明らかにする。	大ナジカ峠～苺平の若齢針葉樹林で、樹木への剥皮が深刻であった
	広河原、夜叉神峠、北沢峠等	7月～	登山者、山小屋関係者等にアンケート調査を行う。	ニホンジカの影響に関する登山者等の意識を把握する。	多くの登山者は、ニホンジカの影響を知らない・見ていない。登山者へ普及を進めることが、今後の施策展開への後押しとなるであろう。
静岡県 くらし・環境部 環境局 自然保護課	茶臼岳、聖平周辺、三伏峠	6月～8月	ブラウン・ブラウンの被度階級区分法	防鹿柵内の植生調査	
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	上宮地、曲輪田地区	7月、11月、2月	痕跡調査	径10mのサークル内(80地点)で食痕や痕跡を調査、年3回の実施。	
静岡市 清流の都創造課	ヘリによる植生及びシカ生息確認調査	11月(8月は天候不順により中止)	写真及び目視	消防ヘリにより、上空から目視・写真により前年との比較により食害等の進行状況等を調査	
大鹿村 産業建設課	小河内沢上流・支流、小洪川左岸上部	4月～11月 8回	写真及び目視	標高700m～2000mの植生調査	247種の維管束植物の記録(計693種)
南アルプス食害対策協議会	仙丈ヶ岳馬の背周辺	6/24,25 7/23	現地調査	防鹿柵の状況確認及び、食害、植生の回復状況調査	
	聖平、兎平	8/21,22	現地調査	聖平における静岡県の取組み状況や、兎平に設置した防鹿柵の現地調査	静岡県との連携 定期的なメンテナンスの実施が困難
	仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大農学部への委託研究	ニホンジカの食害の実態調査と、行動調査 高山植物等を絶滅させないための対策 食害エリアにおける高山植生回復のための管理手法の取組み	

表Ⅱ-2-2 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 一生態系の状況把握及び監視(ニホンジカの生息状況の把握)(H23-H24)一

○平成23年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
環境省 関東地方環境事務所	仙丈ヶ岳、広河原	8月～11月	テレメトリー調査(継続・最終年)	シカの季節移動について把握。 平成22年に広河原で捕獲したシカ1個体及び仙丈ヶ岳(馬の背)で捕獲したシカ2個体の追跡調査。	夏季の亜高山帯と冬季の山地帯を季節的に移動することは、これまでの報告と一致
	北岳、仙丈ヶ岳、千枚岳	8月～10月	自動撮影カメラ	生息状況の経年変化のモニタリング。	
	南アルプス林道、南アルプス公園線、仙丈治山運搬路、東俣林道、千枚管理道路	9月～11月	ライトセンサス、自動車、徒歩による踏査	生息状況の経年変化のモニタリング。	
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	聖平で9頭(オス4頭、メス5頭)		テレメトリー調査(開始)	シカの季節移動について把握。 冬季に深南部(大井川源流部)に移動	
	千枚周辺5頭(オス3頭、メス2頭)		テレメトリー調査(開始)	シカの季節移動について把握。	
静岡市 清流の都創造課	ヘリによる植生及びシカ生息確認調査		写真及び目視	保護活動(対策手法や優先度)への反映	
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大調査チームへの委託による。	ニホンジカの食害から高山植物を守るための、行動調査とともに効率的な個体数調整の方法の検討。生物多様性の維持、裸地化による土砂流出が及ぼす防災上の問題の検討等。	・植物チーム 植生の回復調査 ・治山チーム 食害が及ぼす土砂流出等 ・生物多様性チーム 食害が及ぼす他の動植物への影響調査 ・動物チーム ニホンジカの行動及び個体数調整の方法の検討等

○平成24年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
環境省 関東地方環境事務所	仙丈ヶ岳、鳳凰三山周辺	7月～10月	テレメトリー調査(継続・最終年)	シカの季節移動について把握。 平成22年に広河原で捕獲したシカ1個体及び仙丈ヶ岳(馬の背)で捕獲したシカ2個体の追跡調査。	仙丈で捕獲されたメスシカのGPS首輪のみ落下後に回収。この個体は、11月前半まで北沢峠付近に滞在し、1月には歌宿周辺(標高1,800～1,700m)で過ごしていた。
	北岳、仙丈ヶ岳、荒川岳	6月～10月	自動撮影カメラ	生息状況の経年変化のモニタリング。	(解析中)
	南アルプス林道、南アルプス公園線、仙丈治山運搬路	11月	ライトセンサス	生息状況の経年変化のモニタリング。	南アルプス林道沿いのシカが減少傾向
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	聖平周辺	6月～10月(140日)	カメラトラップ(3台)	・ニホンジカの採食状況把握 ・捕獲圧による、採食圧低減効果の有無	(解析中)
静岡市 清流の都創造課	ヘリによる植生及びシカ生息確認調査	2回/年(8月、11月)	写真及び目視	保護活動(対策手法や優先度)への反映	天候の状況による確認頻度のちがひ
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大調査チームへの委託による。	ニホンジカの食害から高山植物を守るための、行動調査とともに効率的な個体数調整の方法の検討。生物多様性の維持、裸地化による土砂流出が及ぼす防災上の問題の検討等。	・植物チーム 植生の回復調査 ・治山チーム 食害が及ぼす土砂流出等 ・生物多様性チーム 食害が及ぼす他の動植物への影響調査 ・動物チーム ニホンジカの行動及び個体数調整の方法の検討等

表Ⅱ-2-2 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 ー生態系の状況把握及び監視(ニホンジカの生息状況の把握)(H25)ー

○平成25年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
環境省 関東地方環境事務所	北岳、仙丈ヶ岳、荒川岳	6月～10月 北岳、仙丈ヶ岳 7月～10月 荒川岳	自動撮影カメラ	生息状況の経年変化のモニタリング	(解析中)
	南アルプス林道、南アルプス公園線、仙丈治山運搬路	10月下旬～11月上旬	ライトセンサス	生息状況の経年変化のモニタリング	南アルプス林道沿いのシカが減少傾向
山梨県 森林環境部 みどり自然課	全県	通年	糞塊密度、区画法、出猟カレンダーによる調査をもとに生息状況を推測する。	ニホンジカ生息等モニタリング調査	
山梨県森林総合研究所	甘利山～辻山(鳳凰三山方面)	11月	糞塊密度	シカ密度指標である糞塊密度調査により、南アルプス地域のシカ密度に関する情報を得る	地形が急峻で、調査可能な地点が限られている。カメララップ法なども検討する必要がある。
	深沢、広河原、大馴鹿峠、荒川取水口	11月～(北沢峠のみ2011年7月～)	自動撮影カメラ	GPSデータから、高山帯を利用するニホンジカの移動ルートあるいは越冬場所と考えられる複数の場所に自動撮影カメラを設置し、高山帯を利用するニホンジカの効率的捕獲に貢献する。	
	白根御池小屋～草すべり、二俣～右俣、旧北岳山荘周辺	6月～10月	自動撮影カメラ	高山帯に進出するニホンジカの密度の季節変異を明らかにする	
	広河原～北沢峠周辺	5月～	ニホンジカを6頭生体捕獲し、GPS発信器を装着する。	GPSデータから、ニホンジカがいつ、どの植生タイプをどの程度利用しているのかを明らかにする。	
	広河原	7月、9月	登山者にアンケート調査を行う。	ニホンジカの影響に関する登山者等の意識を把握する。	4年前と比較して、全体的に剥皮は増加していた(特に、ダケカンバ林内でのモミ属、落葉広葉樹林内のカエデ属やニシキギ科)
	北沢峠周辺の森林内及びのり面	4月～(2011年度から実施)	自動撮影カメラ	GPSデータから、高山帯を利用するニホンジカの移動ルートあるいは越冬場所と考えられる複数の場所に自動撮影カメラを設置し、高山帯を利用するニホンジカの効率的捕獲に貢献する。	2年前と比較して、摂食の影響は軽減されていない
静岡県 ぐらし・環境部 環境局 自然保護課	蝙蝠尾根、北荒川岳、熊ノ平、光石周辺	6月～10月	ラインセンサス	県RDB掲載種の生育状況調査	・シカ食害が甚大で、ホテイアツモリソウの生育を確認出来ない。 ・ハクロバイを光石周辺で多数確認
	茶臼岳、聖平周辺、三伏峠	6月～10月	カメララップ調査	シカ生育状況調査	・初夏から晩秋までシカが高山帯に生息している。
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	櫛形地区上宮地、曲輪田地区他	4月～	痕跡調査とGPS、センサーカメラの設置	上宮地、曲輪田地区は年4回の実地。対象地区内に径10mのサークル内で食痕や痕跡を調査(110Pt)	
静岡市 清流の都創造課	へりによる植生及びシカ生息確認調査	8月(11月は天候不順により中止)	写真及び目視	消防へりにより、上空から目視・写真により前年との比較により食害等の進行状況等を調査した。	調査実施が天候に強く影響される。
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大農学部への委託による。	ニホンジカの食害の実態調査と、行動調査。高山植物等を絶滅させないための対策等。食害エリアにおける高山植生回復のための管理手法の取り組み等。	

表Ⅱ-2-2 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 ー生態系の状況把握及び監視(ニホンジカの生息状況の把握)(H26)ー

○平成26年度実施

実施機関	実施場所	実施時期・実施期間	調査手法	目的	概要・課題等
環境省 関東地方環境事務所	北岳、仙丈ヶ岳、荒川岳	6月～10月 北岳、仙丈ヶ岳 7月～10月 荒川岳	自動撮影カメラ	生息状況の経年変化のモニタリング	北岳、仙丈ヶ岳では平成23年から25年にかけて撮影頭数が増加し、26年には減少した地点が多い。 荒川岳では、平成24年から毎年減少傾向。
	南アルプス林道、南アルプス公園線、仙丈治山運搬路	10月下旬～11月上旬	ライトセンサス	生息状況の経年変化のモニタリング	南アルプス林道沿い及び南アルプス公園線でシカが減少傾向。
				南アルプス全球の影響モニタリングに向けた資料収集および調査内容の検討	ヒアリング結果から、現状の対策方針(別紙)に記載のあるランク付けから状況が異なっている場所がある。 (詳細の資料及び内容は整理中)
山梨県 森林環境部 みどり自然課	全県	通年	糞塊密度、出猟カレンダー、区画法による調査をもとに生息状況を推測する。	ニホンジカ生息等モニタリング調査	糞塊密度、出猟カレンダー、区画法による調査をもとに生息状況を推測する。
山梨県森林総合研究所	鳳凰三山、北岳	冬季以外	様々な標高(1500～2700m)に自動撮影カメラを設置。	ニホンジカの季節的な出没状況を把握	懸案ではないが、他県の自動撮影カメラの結果と比較すると、より広範囲なシカの出没状況がわかるかも知れない(月ごとの撮影枚数など?)
	草すべり・右俣周辺、鳳凰三山(辻山～地藏ヶ岳)	5月～10月	摂食状況を把握するための植生調査を行う	ニホンジカがどの植生タイプをどの程度摂食しているのかを明らかにする。	大ナジカ峠～葎平の若齢針葉樹林で、樹木への剥皮が深刻であった
	広河原、夜叉神峠、北沢峠等	7月～	登山者、山小屋関係者等にアンケート調査を行う。	ニホンジカの影響に関する登山者等の意識を把握する。	多くの登山者は、ニホンジカの影響を知らない・見ていない。登山者へ普及を進めることが、今後の施策展開への後押しとなるであろう。
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	茶臼岳、聖平周辺、三伏峠	6月～10月	カメラトラップ調査	シカ生息状況調査	
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	上宮地、曲輪田地区	7月、11月、2月	痕跡調査	径10mのサークル内(80地点)で食痕や痕跡を調査、年3回の実施。	
静岡市 清流の都創造課	へりによる植生及びシカ生息確認調査	11月(8月は天候不順により中止)	写真及び目視	消防へりにより、上空から目視・写真により前年との比較により食害等の進行状況等を調査	
南アルプス食害対策協議会	仙丈ヶ岳馬の背周辺	6/24,25 7/23	現地調査	防鹿柵の状況確認及び、食害、植生の回復状況調査	
	仙丈ヶ岳馬の背及びその周辺	通年	信大農学部への委託研究	ニホンジカの食害の実態調査と、行動調査 高山植物等を絶滅させないための対策 食害エリアにおける高山植生回復のための管理手法の取組み	

表Ⅱ－２－３ 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 ーニホンジカの防除(個体数調整)(H23)ー

○平成23年度実施

実施機関	実施場所	目的	実施時期・実施期間	手法(銃器、くくりワナ、囲いワナ等)	課題等
中部森林管理局 南信森林管理署	伊那市、大鹿村、飯田市の国有林内	国有林及び周辺地域におけるニホンジカ被害を防止するため、森林管理署職員によりくくりワナでの捕獲を行う。		くくりワナ	委託契約者と国有林職員で捕獲頭数1,253頭。
環境省 関東地方環境事務所	南アルプス林道及び南アルプス公園線			銃器による捕獲	より効率的に捕獲する手法はないか 利用時期と重なったの捕獲であったが、特に批判的な意見は届いていない。 何か意見が届いていれば教えていただきたい。
山梨県森林環境部みどり自然課	広河原周辺(4箇所)	高山帯に進出する可能性のあるニホンジカを効率的に捕獲する技術を開発する。		囲いワナ	
北杜市林政課	北杜市全域	猟友会へ委託			
韮崎市 農林課 農林振興担当	韮崎市全域	鹿による農作物被害のため			
早川町	早川町全域	農作物被害防止			
川根本町	川根本町一円(国有林を除く)	有害鳥獣捕獲事業「農林産物の食害防止」			124頭
大鹿村	村内全域	農林業被害を減少させるため	通年	銃器、くくりワナ	702頭
南アルプス食害対策協議会	伊那市林道南アルプス線沿線	高山、亜高山帯でのニホンジカによる食害対策としての個体数調整のため。		くくりワナ	
	南アルプス食害対策協議会構成団体の管轄する南アルプス域	高山、亜高山帯でのニホンジカによる食害対策としての個体数調整のため。		くくりワナ、銃器等	
富士見町 産業課	富士見町全域	農業被害減少	4月～3月(通年)	檻ワナ、銃器	捕獲隊4名

表Ⅱ-2-3 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧

ーニホンジカの防除(個体数調整)(H24)ー

○平成24年度実施

実施機関	実施場所	目的	実施時期・実施期間	手法(銃器、くりワナ、囲いワナ等)	課題等
中部森林管理局 南信森林管理署	伊那市、大鹿村、飯田市の国有林内	国有林及び周辺地域におけるニホンジカ被害を防止するため、森林管理署職員によりくりワナでの捕獲を行う。	10月～11月	くりワナ	事業の繁忙期に実施するため、大量捕獲は困難。※現在の捕獲頭数67頭(♀28♀39)捕獲に獲れない者やメンタル的に弱い者には苦痛。
環境省 関東地方環境事務所	南アルプス林道沿い(山梨県側)	広河原周辺及び林道沿いで越冬又は季節移動個体を捕獲する	6月、11月～3月 (但し、マカシ一限制実施期間(6/25～11/9)を除く)	銃器による流し猟	・他の捕獲手法(広河原での囲いワナ)との連携 ・より効率的に捕獲する手法はないか
	南アルプス林道沿い(長野県側)	夏季に北沢峠周辺に登ってくる個体を捕獲する	7月～9月 (但し、7月13日～8/19の繁忙期は除く)	くりワナ(止め刺しは基本的に刺殺)	利用時期と重なった捕獲であったが、特に批判的な意見は無い。 何か意見が届いていれば教えていただきたい。
	北岳・仙丈ヶ岳・烏帽子岳	高橋高域での銃器捕獲に向けた検討	捕獲検討調査	銃器による捕獲の検討	・関係者や利用者の理解が得られるか ・捕獲にかかる費用担保ができるか ・安全対策が十分に行えるか ・改善手法等の検証・検討をどのように進めるか
山梨県森林環境部みどり自然課	広河原周辺、かつば横周辺	高山帯に進出する可能性のあるニホンジカを効率的に捕獲する技術を開発する。	5月～6月、10月～12月	囲いワナ	捕獲後の止めさし、処置は管理捕獲従事者に依頼する予定であるが、多数の捕獲個体が発生した場合は捕獲個体の処理が困難である。
静岡県 くらし・環境部 環境局 自然保護課	聖平	・GPS首輪行動追跡(♂1頭を捕獲(計9頭)、追跡調査中) ・新捕獲用具の使用実験 ・捕獲圧による、採食圧低減効果の有無	9/26～10/5	・くりワナ20基 ・セルフロックスタンション3基	作業制限が多い(処分方法、期間、運搬等)
長野県 環境部自然保護課・林務部野生鳥獣対策室	南アルプス地域個体群(旧高遠町・長谷村の一部)	県発注の広域捕獲隊による南アルプス山麓での捕獲	6月～10月	主にくりワナ	目標930頭に対し900頭捕獲
	南アルプス地域個体群(大鹿村の一部(北川牧場・向山牧場))	県発注の広域捕獲隊による南アルプス山麓での捕獲	6月～10月	主にくりワナ	本年度目標550頭に対し391頭捕獲
	南アルプス地域個体群(全体)	個体数調整、狩猟による捕獲	4月～3月	銃器、ワナ	本年度目標12000頭に対し、10月末時点で8811頭捕獲
北杜市林政課	北杜市全域	第1回管理捕獲(ニホンジカ 240頭捕獲)	4/26～9/30	銃器、くりワナ	
	北杜市全域	第2回管理捕獲(ニホンジカ 60頭捕獲)	7/30～11/30	銃器、くりワナ	
	北杜市全域	第3回管理捕獲(ニホンジカ 200頭目標)	11/10～1/15	銃器、くりワナ	
	北杜市全域	有害鳥獣捕獲(ニホンジカ 27頭捕獲)	4/1～9/10	くりワナ	
荻崎市 農林課 農林振興担当	荻崎市全域	鹿による農作物被害のため	4月～3月	銃器、くりワナ等	個体数の増加・猟友会の高齢化等
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	地域ぐるみの捕獲事業(モデル地区(扇形地区))	ワナの捕獲講習を開催し、地域ぐるみで捕獲圧を高める	4月～3月	ワナ	ワナ免許を取得することはないが、設置した場合、巡回業務などをどう構築していくか。
早川町	早川町全域	農作物被害防止	4月～9月	銃器、くりワナ	
川根本町	川根本町一円(国有林を除く)	有害鳥獣捕獲事業「農林産物の食害防止」	4/1～4/30	銃器、くりワナ、囲いワナ	
	川根本町一円(国有林を除く)	有害鳥獣捕獲事業「農林産物の食害防止」	6/18～8/31	銃器、くりワナ、囲いワナ	猟友会員高齢化(毎年減少)
	川根本町一円(国有林を除く)	有害鳥獣捕獲事業「農林産物の食害防止」	9/7～10/31	銃器、くりワナ、囲いワナ	
飯田市	保護管理計画による南アルプス個体群及びその恩の地域	農林業被害の軽減	4月～11/14	銃器、くりワナ、檻ワナ(捕獲数 ♂411頭 ♀535頭 計946頭)	
大鹿村	村内全域	農林業被害を減少させるため	連年	銃器、くりワナ	新規狩猟者(猟友会員の確保)
	北川牧場	①農林業被害を減少させるため ②少人数による効率的な捕獲	4月～12月	囲いワナ	捕獲時の連絡体制
	向山牧場	①農林業被害を減少させるため ②少人数による効率的な捕獲	4月～12月	囲いワナ	捕獲時の連絡体制
南アルプス食害対策協議会	伊那市林道南アルプス線沿線	高山、亜高山帯でのニホンジカによる食害対策としての個体数調整のため。	6/15～6/28	くりワナ	登山シーズンと重なるため、登山客の理解及び配慮が必要。また猟友会員が高齢であり見回り等の作業についても今後検討が必要。
	南アルプス食害対策協議会構成団体の管轄する南アルプス域	高山、亜高山帯でのニホンジカによる食害対策としての個体数調整のため。	6月～2月	くりワナ、銃器等	構成4市町村の各猟友会に委託実施。
富士見町 産業課	富士見町全域	農業被害減少	4月～3月(連年)	くりワナ、檻ワナ、銃器	林業被害への対策、捕獲従事者の確保

表Ⅱ-2-3 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 -ニホンジカの防除(個体数調整)(H25)-

○平成25年度実績

実施機関	目的	実施区域	具体的な実施場所	実施時期・実施期間	手法(銃器、くりワナ、囲いワナ等)	懸念事項・留意事項等
中部森林管理局 南信森林管理署	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	伊那市、大鹿村、飯田市の国有林内	10月～11月	くりワナ	・事業の繁忙期に実施するため、大量捕獲は困難。※現在の捕獲頭数125頭(♂49♀81) ・捕獲に慣れない者やメンタル的に弱い者には苦痛。捕獲頭数が増大するにつれ残虐処置(埋設)の対応が困難となっている。 又、前年度に比べると熊の捕獲捕獲が増大している。
環境省 関東地方環境事務所	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	南アルプス林道沿い(山梨県側)	11月～3月 (但し、マイカー規制実施期間(6/23～11/9)を除く)	銃器による流し猟(広河原周辺及び林道沿いで越冬又は季節移動個体を捕獲する)	5月～6月(マイカー規制前)は山梨県で実施 雪の影響もあり、目標個体数に到達するかどうかは未定
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	南アルプス林道沿い(長野県側)	7月～9月 (但し、7月13日～8/19の繁忙期は除く)	くりワナ、止め刺しは基本的に射殺(夏季に北沢峠周辺に登ってくる個体を捕獲する)	20頭捕獲
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	仙丈ヶ岳(小仙丈カール)	捕獲予定時期は8月下旬～9月上旬	銃器捕獲の実証試験	関係機関、利用者の理解は概ね得られた。 天候の関係もあり、カール内に3頭確認し発報するも、捕獲には至らず
山梨県 森林環境部 みどり自然課	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	標高1000m未満の地域(市町村管理捕獲)	通年	銃器、くりワナ	雪の影響による目標頭数への到達
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	標高1000m以上で鳥獣保護区及び特別保護地区に含まれる地域(個体数調整捕獲)	通年	銃器、くりワナ	雪の影響による目標頭数への到達
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	未定(流し猟式シャープシューティング)	未定	銃器	ハヶ岳方面で実施予定
山梨県森林総合研究所	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	県道南アルプス公園線、林道南アルプス線沿いに設置された囲いワナ	10～3月	囲いワナ	年によって積込状況が大きい異なり、安定した捕獲はできていない。ワナまでの距離が遠い。
静岡県 ぐらし・環境部 環境局 自然保護課	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	聖平小舎周辺(約2400m)	9/22～10/2	くりワナ、セルフロックスタンチン	
長野県 環境部自然保護課・林務部野生鳥獣対策室	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	南アルプス山麓(伊那市高遠地区、伊那市長谷地区)	4月～8月(5ヶ月間)	銃器、くりワナ	県発注の広域捕獲隊による捕獲事業(実績:1,690頭)
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	南アルプス山麓(大鹿村北川・向山牧場周辺)	4月～8月(5ヶ月間)	銃器、くりワナ	県発注の広域捕獲隊による捕獲事業(実績:620頭)
北杜市 林政課	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	北杜市内一円	4/1～3/31	銃器、くりワナ	管理捕獲:985頭
亜崎町 農林課 農林振興担当	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	亜崎町全域	4/1～3/31	銃器、くりワナ等	個体数の増加、猟友会の高齢化等
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	甘利山山頂付近	12月～4月(山の冬期間に合わせた実施)	銃器、くりワナ	猟友会の高齢化により、山頂付近での捕獲が難しくなっている。
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	棚形曲輪田区、高尾地区	9月～	くりワナ、囲いワナ	くりワナでは住民とともに設置し25頭の捕獲、囲いワナでは1頭捕獲
早川町	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	早川町内全域	4月～11月	銃器、くりワナ	
静岡市 中山間地振興課	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	英区井川地区	3月下旬	囲いワナの設置(H=2m、L=380m、0.05ha)	点在する8か所の市放牧地のうち1か所のみの設置のため、他放牧地の防護が急務
川根本町	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	川根本町一円(各集落周辺、山林)※国営林除く	4/4～5/31、6/13～10/31	銃器、ワナ【くりワナ、囲いワナ】	狩猟者の高齢化・銃保持者が減少しワナが増加傾向
飯田市	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	飯田市全域	4月～11月	銃器、くりワナ	
大鹿村 産業建設課	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	村内一円	4/1～3/31	銃器、くりワナ、囲いワナ	大河原6射・鹿場4割
南アルプス食害対策協議会	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	伊那市林道南アルプス線沿線	10/26～11/13	くりワナ	登山シーズンと重なると、登山客への理解及び配慮が必要。また、猟友会員が高齢であり見回り等の作業についても検討が必要。
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	南アルプス食害対策協議会構成団体の管轄する南アルプス域	8月～2月	くりワナ、銃器等	構成4市町村の各猟友会に委託実施。
富士見町 産業課	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	全町対象	4/1～3/31	銃器、くりワナ、捕獲檻	町は農地周辺の駆除を重点に展開 農地以外は猟友会に依存
	農地集落被害対策 山林被害対策 高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	全町対象	4/1～3/31	銃器、くりワナ、捕獲檻	モミの被害

表Ⅱ-2-3 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧

ーニホンジカの防除(個体数調整)(H26)ー

○平成26年度実施

実施機関	目的	実施区域	具体的な実施場所	実施時期・実施期間	手法(銃器、くくりワナ、囲いワナ等)	懸念事項・調整事項等
中部森林管理局 南信森林管理署	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	伊那市、大鹿村、飯田市の国有林内	10月～3月	くくりワナ	埋設箇所の確保と臨時雇用者の確保(猟友会との調整。)捕獲頭数:126頭(♂67,♀59H27. 02.16現在)
環境省 関東地方環境事務所	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	南アルプス林道沿い(山梨県側)	11月～3月 (但し、マイカー規制実施期間(6/25～11/9)を除く)	銃器による流し猟 (広河原周辺及び林道沿いで越冬又は季節移動個体を捕獲する)	5月～6月(マイカー規制前)は山梨県で実施
	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	仙丈ヶ岳(小仙丈カール)	8/22～8/27	銃器捕獲の実証試験	一般利用者の反応、周辺関係者の理解、実証試験がうまくいか
山梨県 森林環境部 みどり自然課	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	標高1,000m未満の地域(市町村管理捕獲)	通年	銃器、くくりワナ	雪の影響による目標頭数への到達
	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	標高1,000m以上で鳥獣保護区及び特別保護地区に含まれる地域(個体数調整捕獲)	通年	銃器、くくりワナ	雪の影響による目標頭数への到達
山梨県森林総合研究所	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	県道南アルプス公園線、林道南アルプス線沿いに設置された囲いワナ	4～6月、10～12月	囲いワナ	年によって誘因状況が大きく異なり、安定した捕獲はできていない。ワナまでの距離が遠い。
北杜市 林政課	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	北杜市内一円	4/1～3/31	銃器、くくりワナ	管理捕獲 985頭
韭崎市 農林課 農林振興担当	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	韭崎市全域	4/1～3/31	銃器、くくりワナ等	個体数の増加、猟友会の高齢化等
	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	甘利山	県道甘利山公園線 冬期閉鎖期間	銃器、くくりワナ等	猟友会の高齢化により、山頂付近での捕獲が難しくなっている。
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	曲輪田、平岡区(くくりワナ)高尾区(囲いワナ)、芦安、白根、櫛形、甲西地区(銃器)	通年	銃器、くくりワナ、囲いワナ	捕獲個体埋設施設場所の不足
早川町	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	早川町内全域	4月～11月	銃器、くくりワナ	
静岡市 中山間地振興課	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	葵区井川地区	通年	囲いワナの順化	
川根本町	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	川根本町全域(国有林除く)	4月～10月	銃器、くくりワナ	猟友会の高齢化、獣肉の普及と利活用
飯田市	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	飯田市全域	4月～11月	銃器、くくりワナ	遠山地区7割、他3割
大鹿村 産業建設課	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	村内一円	通年	銃器、くくりワナ、囲いワナ	1,050頭予定
南アルプス食害対策協議会	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	林道南アルプス線沿い	9/1～11/15	くくりワナ	登山客への理解及び配慮 猟友会員の高齢化
	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	構成団体の管轄する南アルプス域	8/1～2/28	くくりワナ、銃器等	構成4市町村の各猟友会への委託
富士見町 産業課	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	全町対象	4/1～3/31	銃器、くくりワナ、捕獲檻	個体数の把握が出来ていないため、適正な捕獲数が分からない 異により駆除を行える猟友会員が限られている
	農地集落被害対策・山林被害対策・高山植物被害対策	低標高(～900m)・中標高(900m～1500m)・高標高(1500m～)	全町対象	4/1～3/31	銃器、くくりワナ、捕獲檻	モミの被害

表Ⅱ－２－４ 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 －ニホンジカの防除(防鹿柵)(H23)－

○平成23年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
環境省 関東地方環境事務所	仙丈ヶ岳(馬の背)・既存張替	L=350m	季節型防鹿柵 (一箇所、鋼製防鹿柵(54㎡))	高山植物群落の保護	
	北岳(①草すべり上部:新設、②山頂直下:維持管理、③白根御池小屋裏:維持管理)	① L=600m ② A=100㎡ ③ A=49㎡	① 季節型防鹿柵 ②、③ コンドーシ工法	高山植物群落の保護 (特に、②はキタダケソウ、③はホテイアツモリソウの保護)	
	荒川岳(西カール・前岳)・新設	L=750m	季節型防鹿柵	高山植物群落の保護	
山梨県森林総合研究所	北岳 二俣と右俣雪田および御池小屋前				実験的に防護柵設置
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	薊畑	L=40m	新設	採食圧低減による植生回復	
	①聖平 ②三伏峠 ③茶臼岳	① L=40mと80m ② L=175mと240m ③ L=80m	修繕 季節型防鹿柵		
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	楯形山		食害防止ネットの設置	山梨県自然記念物楯形山のアヤマ平及び裸山のアヤマ群落の保全のためアヤマ平一帯を囲む食害防止ネット。	
飯田市	ヤシヤイノデ分布地、兎岳		点検・一部修繕		災害復旧工事のため登山道が使用できなかった。平成24年度に行う予定であった、防鹿柵の点検は延期となっている。
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背	L=948m A=0.47ha	防鹿柵の再設置(冬季撤去)	ニホンジカの食害から高山植物を守るとともに、土砂流出防止を図る。	
	兎岳	L=200m	修繕		

表Ⅱ-2-4 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 -ニホンジカの防除(防鹿柵)(H24)-

○平成24年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
環境省 関東地方環境事務所	北岳(右俣上部)・新設	L=315m	季節型防鹿柵	高茎草本群落の保護	
	仙丈ヶ岳(馬瀬周辺)・維持管理	A=1,259㎡	季節型防鹿柵 (一箇所、鋼製防鹿柵(54㎡))	高山植物群落の保護	
	北岳(①草すべり上部、②山頂直下、 ③白根御池小屋裏)・維持管理	① L=600m ② A=100㎡ ③ A=49㎡	① 季節型防鹿柵 ②、③ コンドーシ工法	高山植物群落の保護 (特に、②はキタダゲソウ、③はホテイアツモリソウの保護)	
	荒川岳(西カール・前岳)・維持管理	L=750m	季節型防鹿柵	高山植物群落の保護	
山梨県森林総合研究所	北岳 二俣および御池小屋前	二俣:10×10m 御池小屋前:5×2m	サブリガードネット	希少種(ミヤマハナシノブ)保護	実験的に行っているため、小面積である。
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	聖平周辺	① L=80m ② L=50m	①【新設】 鋼製防鹿柵 ②【新設】 季節型防鹿柵	採食圧低減による植生回復	要対策箇所が多く、未着手箇所が多い。 (未着手箇所) 光岳、上河内岳、百間洞、千枚小屋周辺、荒川小屋周辺、 北荒川岳、熊ノ平 特にホテイアツモリソウ(CR)の生育地である、北荒川岳で の食害が深刻化している。
	三伏峠	① L=140m	①【新設】 季節型防鹿柵		
	①聖平・薊畑 ②三伏峠 ③茶臼岳	① L=160m ② L=415m ③ L=80m	【維持修繕】 全て鋼製防鹿柵		
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	櫛形山	総延長約1,500m	食害防止ネットの設置	山梨県自然記念物櫛形山のアヤマ平及び裸山のアヤマ群落の保全のためアヤマ平一帯を囲む食害防止ネット。	広大に設置したネットの巡視業務と保守点検、さらに植生環境の復元目的、目標の設定
高山植物保護ボランティアネットワーク	千枚小屋下	L=40m	【新設】 季節型防鹿柵	採食圧低減による植生回復	
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背	L=948m A=0.47ha	防鹿柵の設置	ニホンジカの食害から高山植物を守るとともに、土砂流出防止を図る。	経年劣化によるネットの更新。
富士見町 産業課	入笠湿原・維持管理	A=6.4ha (L=1.2km) (H20年度設置)	ナイロン製ネットフェンスによる囲い込み	シカによる高山植物の食害対策	出入り口管理の徹底
	御所平峠お花畑・維持管理	A=3.5ha (L=1.3km) (H20年度設置)	ナイロン製ネットフェンスによる囲い込み	シカによる高山植物の食害対策	
	入笠湿原および御所平峠お花畑	A=9.6ha	外来植物、雑草の除去	在来植生の保護、回復	

表Ⅱ－2－4 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 ーニホンジカの防除(防鹿柵)(H25)ー

○平成25年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
中部森林管理局 南信森林管理署	伊那市の国有林内	1.5km、5.36ha	植栽予定地への防鹿柵設置	新植地持来予定地を囲むように、ポスト(鉄杭)、金網(2段重ね)による防鹿柵を建設。	
環境省 関東地方環境事務所	仙丈ヶ岳(馬の背・鋼製柵)	L=50m	季節型防鹿柵の新設改築	既存の鋼製柵の老朽化に伴う更新	毎年維持管理が必要な施設のため、維持管理費が長期的に確保できるか。
	北岳(大樽沢右俣上部)	L=500m	季節型防鹿柵の新設	高茎草本群落の保護	
	仙丈ヶ岳(馬の背周辺)・維持管理	A=1,259㎡	季節型防鹿柵	高山植物群落の保護	
	北岳(①草すべり上部、②右俣上部、③山頂直下、④白根御池小屋裏)・維持管理	① L=600m ② L=315m ③ A=100㎡ ④ A=49㎡	①、② 季節型防鹿柵 ③、④ コンドーンシ工法	高山植物群落の保護 (特に、③はキタダケソウ、④はホテイアツモリソウの保護)	
	荒川岳(西カール・前岳)・維持管理	L=750m	季節型防鹿柵	高山植物群落の保護	
山梨県森林総合研究所	二俣、御池	5×5m×2基	プラスチック製植生保護柵(積雪期撤去)	植生への摂食圧の把握	
	北沢峠	10×20m×6基(3基標高2000m、3基標高2500m)	プラスチック製植生保護柵(通年設置)	植生への摂食圧の把握	
静岡県 ぐらし・環境部 環境局 自然保護課	茶臼岳	L=80m	防鹿柵整備	県委託事業	
	聖平周辺	L=395m A=200㎡	防鹿柵整備 土砂流出防止対策	県委託事業	
	三伏峠	L=555m	防鹿柵整備	県委託事業	
長野県 環境部 自然保護課	飯田市 上村地区	20箇所	亀甲金網による希少植物(単体)保護	亀甲金網でヤシヤイノデ単体を被覆 点状で20箇所実施した	
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	榑形山のアヤマ平 (山梨県立南アルプス巨摩自然公園内)	総延長約1,500m	防鹿柵の点検	H24年度に設置した大型防鹿柵の保守点検	大きな区域の防鹿柵では保守点検が困難
早川町 振興課振興担当	京ヶ島三瀬尾	L=1000m	防鹿柵設置	鳥獣侵入防護柵設置工事	
高山植物保護ボランティアネットワーク	千枚小屋下	L=40m	【維持修繕】季節型防鹿柵	採食圧低減による植生回復	
静岡市 清流の都創造課	千枚小屋周辺	約400m	防鹿柵(ネット)	高校生対象としたセミナーとして設置	
飯田市	飯田市上村 北又沢	20箇所	亀甲金網による保護	シカによるヤシヤイノデの食害対策(県、市)	
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背	L=948m A=0.47ha	防鹿柵の設置	ニホンジカの食害から高山植物を守るとともに、土砂流出防止を図る。	経年劣化によるネットの更新。
富士見町 産業課	入笠山御所平峠お花畑	3.1ha	・シカ除けネットの維持 ・外来植物、雑草の除去	・H20年度に設置したネットフェンスの維持 ・町観光事業及び民間ボランティアによる作業	・ネットフェンス出入り口の管理
	入笠湿原	6.1ha	・シカ除けネットの維持 ・外来植物、雑草の除去	・H20年度に設置したネットフェンスの維持 ・町観光事業及び民間ボランティアによる作業	・ネットフェンス出入り口の管理
	入笠湿原	126m	・木道(階段)の設置	・日本すずらんの群落の中にある遊歩道(坂道)の荒廃対策のため、木道(階段)を設置	

表Ⅱ-2-4 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧

ーニホンジカの防除(防鹿柵)(H26)ー

○平成26年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
環境省 関東地方環境事務所	仙丈ヶ岳(馬の背周辺)・維持管理	A=1,415㎡	季節型防鹿柵	高山植物群落の保護	毎年維持管理が必要な施設のため、維持管理費が長期的に確保できるか。
	北岳(①草すべり上部、②右俣上部、③山頂直下、④白根御池小屋裏)・維持管理	① L=600m ② L=815m ③ A=100㎡ ④ A=49㎡	①、② 季節型防鹿柵 ③、④ コンドーシ工法	高山植物群落の保護 (特に、③はキタダケソウ、④はホテイアツモリソウの保護)	
	荒川岳(西カール・前岳)・維持管理	L=1050m	季節型防鹿柵	高山植物群落の保護	
山梨県森林総合研究所	北沢峠	10×20m×6基(3基標高2000m、3基標高2500m)	プラスチック製植生保護柵(通年設置)	植生への摂食圧の把握	
	二俣、御池	5×5m×2基	プラスチック製植生保護柵(積雪期撤去)	植生への摂食圧の把握	
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	茶臼岳	L=250m	防鹿柵の更新及び増設	県委託事業	
	聖平周辺	L=395m	防鹿柵整備	県委託事業	
	三伏峠	L=555m	防鹿柵整備	県委託事業	
南アルプス市 農林商工部 みどり自然課 自然保護推進担当	櫛形山 樺山 山梨県立南アルプス巨摩自然公園内	新設300m 既設1,500m	食害防止ネットの設置 ポランティア	櫛形山アヤマ群落地の樺山に防鹿柵を設置	倒木や倒壊、また広範囲に及ぶネット設置のため、他の場所の食害が広がる。(登山道沿)
早川町 振興課振興担当	早川居村	L=1,000m	防護柵設置	鳥獣侵入防護柵設置工事	
高山植物保護ボランティアネットワーク	千枚小屋下	L=40m	【維持修繕】 季節型防鹿柵	摂食圧低減による植生回復	
静岡市 清流の都創造課	千枚小屋周辺	L=600m	①季節型防鹿柵整備(L=350m) ②季節型防鹿柵拡張(L=250m)	①市委託事業 ②高校生を対象としたセミナーの一環で設置	
飯田市	聖平			現地調査:静岡県側における防鹿柵の状況把握と長野県側での新設検討	
	兎岳			現地調査:既設鋼製防鹿柵の状況把握	
南アルプス食害対策協議会	仙丈ヶ岳馬の背周辺	設置箇所12ヶ所 L=1,151m	防鹿柵の再設置7ヶ所、新規設置5ヶ所	ニホンジカの食害からの高山植物保護 土砂流出防止	柵設置箇所の検討、劣化ネットの更新
	集団登山対象中学校(5校)	構成4市町村内	中学生への勉強会、またはパンフレット配布	信大教授等による食害対策授業の開催 パンフレットの送付による集団登山授業への活用	集団登山前の日程調整
	啓発ポスター制作	200部	中学生の図案をもとに制作	一般への啓発活動	宿泊施設、山小屋等への掲示依頼
富士見町 産業課	入笠山御所平峠お花畑	A=3.1ha	・シカ除けネットの維持 ・外来植物、雑草の除去	・H20年度に設置したネットフェンスの維持 ・町観光事業及び民間ボランティアによる作業	ネットフェンス出入り口の管理
	入笠湿原	A=6.1ha	・シカ除けネットの維持 ・外来植物、雑草の除去	・H20年度に設置したネットフェンスの維持 ・町観光事業及び民間ボランティアによる作業	ネットフェンス出入り口の管理

表Ⅱ-2-5 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 -環境の改善(土壌侵食等への対策、ニホンジカ増加防止等)(H23-H24)-

○平成23年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
静岡県 ぐらし・環境部 環境局 自然保護課	①聖平 ②塩見岳	① A=225㎡ ② A=150㎡ ③ L=81m	土砂流出防止対策	土砂流出防止対策	
大鹿村	①北川 ②向山	①L=900m ②L=2,355m	補修	牧場被害対策	
	①島河原 ②中沢	①L=1,365m ②L=752m	新設	農業被害対策	
富士見町 産業課	農地	L=2,900m	電気柵(新設)	シカによる農業被害対策	出入り口管理の徹底
	集落	L=200m	電気柵資材支給		

○平成24年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
環境省 関東地方環境事務所	北岳(トラバース分岐～吊尾根分岐 登山道)	L=120m	丸木及び鉄杭を用いた、土留 工、路側工、及び階段工	踏圧等による崩壊防止、キタダケソウ生育地の保護 (グリーンフーカー事業による芦安ファンクラブへの委託)	
	塩見岳	A=120㎡	ヤシ殻マットの敷設	土壌流出防止	
山梨県森林総合研究所	北岳 二俣および御池小屋前	二俣:10×10m 御池小屋前:5×2m	サブリガードネット	希少種(ミヤマハナシノブ)保護	実験的に行っているため、小面積である。
早川町	早川町早川	一年間とおして300回	エアージェン	農作物被害防止	
	早川町三里	一年間とおして200回	モンキードッグ	農作物被害防止	
	早川町・三里・硯島・都川・五箇	一年間とおして400回	駆逐用花火	農作物被害防止	住民の協力

表Ⅱ-2-5 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 ー環境の改善(土壌侵食等への対策、ニホンジカ増加防止等)(H25-H26)ー

○平成25年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
環境省 関東地方環境事務所	北岳(トラバース分岐～吊尾根分岐登山道)	L=120m	丸太及び鉄杭を用いた、土留工、路側工、及び階段工	踏圧等による崩壊防止、キタダケソウ生育地の保護(平成24年度事業の継続) (グリーンワーカー事業による芦安ファンクラブへの委託)	
	塩見岳	A=150m ²	ヤシ殻マットの敷設	土壌流出防止	
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	聖平周辺	L=395m A=200m ²	防鹿柵整備 土砂流出防止対策	県委託事業	
静岡市 清流の都創造課	千枚小屋周辺	約400m	防鹿柵(ネット)	高校生対象としたセミナーとして設置	
南アルプス食害対策協議会	南アルプス仙丈ヶ岳馬の背	L=948m A=0.47ha	防鹿柵の設置	ニホンジカの食害から高山植物を守るとともに、土砂流出防止を図る。	経年劣化によるネットの更新。

○平成26年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
環境省 関東地方環境事務所	聖平	A=150m ²	ヤシ殻マットの敷設	土壌流出防止	
南アルプス山岳交通適正化協議会	北岳(吊尾根分岐より上部の登山道)	L=160m	丸太及び鉄杭を用いた、土留工、路側工、及び階段工	踏圧等による崩壊防止、キタダケソウ生育地の保護 (環境協力の金の利用、平成24～25年度グリーンワーカー事業による実施分の継続)	
静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課	塩見岳	A=150m ²	土砂流出防止対策	県委託事業	
南アルプス食害対策協議会	仙丈ヶ岳馬の背周辺	設置箇所12ヶ所 L=1,151m	防鹿柵の再設置7ヶ所、新規設置5ヶ所	ニホンジカの食害からの高山植物保護 土砂流出防止	柵設置箇所の検討、劣化ネットの更新

表Ⅱ－２－６ 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 －生態系の維持回復に必要な動植物の保護増殖(H23－H24)－

○平成23年度実施

実施機関	実施場所	目的	手法	対象種等	課題等
環境省 新宿御苑管理事務所	北岳	絶滅リスクに備えた生息域外保全	系統栽培	国立環境研究所にて開発したキタダケソウ栽培技術の移転	
長野県立上伊奈農業高校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	栽培家より提供を受けたアツモリソウ(中央アルプス・経ヶ岳産)、ホテイアツモリソウ(南アルプス・釜無岳産)のさや(交配後45日経過したもの)から無菌播種による増殖、増殖株の順化	
長野県立富士見高等学校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	富士見町アツモリソウ再生会議より提供を受けたホテイアツモリソウ(釜無)のプラスチック苗からの無菌培養による増殖、増殖株の順化	

○平成24年度実施

実施機関	実施場所	目的	手法	対象種等	課題等
環境省 新宿御苑管理事務所	北岳	絶滅リスクに備えた生息域外保全	系統栽培	国立環境研究所にて開発したキタダケソウ栽培技術の移転	
環境省 自然環境局 野生生物課	北岳	絶滅リスクに備えた生息域外保全	種子保存	北岳周辺にて採取した環境省レッドリスト掲載種19種(キタダケナズナ、クモマナズナ、シコタンハコベ、キタダケソウ、キタダケキンポウゲ、キタザワフシ、キタダケトリカブト、キンロバイ、ハゴロモグサ、ミヤマハナシノブ、タカネコウリンカ、ハハコヨモギ、オノエスゲ、ヒゲハリスゲ、タカネナルコ、クモマスズメノヒエ、ヒゲナガコメススキ、ミヤマハルガヤ、キタダケイチゴツナギ)、山梨県版レッドデータブック掲載4種(タカネビランジ、ミヤマムラサキ、クロミノウグイスカグラ、ムラサキタカネアオヤギソウ)の種子の冷凍・乾燥状態による長期保存を実施(新宿御苑)。	
長野県立上伊奈農業高校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	栽培家より提供を受けたアツモリソウ(中央アルプス・経ヶ岳産)、ホテイアツモリソウ(南アルプス・釜無岳産)のさや(交配後45日経過したもの)から無菌播種による増殖、増殖株の順化	
長野県立富士見高等学校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	富士見町アツモリソウ再生会議より提供を受けたホテイアツモリソウ(釜無)のプラスチック苗からの無菌培養による増殖、増殖株の順化	

表Ⅱ-2-6 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 -生態系の維持回復に必要な動植物の保護増殖(H25-H26)-

○平成25年度実施

実施機関	実施場所	目的	手法	対象種等	課題等
山梨県総合理工学研究機構		生息域外保全に係る技術開発	組織培養、種子増殖	ミヤマハナシノブの組織培養による増殖、キタダケソウの無菌播種・発芽条件の検討	
山梨県立笛吹高校		生息域外保全に係る技術開発	発芽試験	冷蔵保存したタカネマンテマ、タカネピランジ種子の発芽条件の解明	
長野県立上伊奈農業高校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	栽培家より提供を受けたアツモリソウ(中央アルプス・経ヶ岳産)、ホテイアツモリソウ(南アルプス・釜無岳産)のさや(交配後45日経過したもの)から無菌播種による増殖、増殖株の順化	
長野県立富士見高等学校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	富士見町アツモリソウ再生会議より提供を受けたホテイアツモリソウ(釜無)のフラスコ苗からの無菌培養による増殖、増殖株の順化	

○平成26年度実施

実施機関	実施場所	目的	手法	対象種等	課題等
長野県立上伊奈農業高校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	栽培家より提供を受けたアツモリソウ(中央アルプス・経ヶ岳産)、ホテイアツモリソウ(南アルプス・釜無岳産)のさや(交配後45日経過したもの)から無菌播種による増殖、増殖株の順化	
長野県立富士見高等学校		生息域外保全に係る技術開発	無菌培養、順化	富士見町アツモリソウ再生会議より提供を受けたホテイアツモリソウ(釜無)のフラスコ苗からの無菌培養による増殖、増殖株の順化	
静岡大学		生息域外保全に係る技術開発	発芽試験、栽培試験	タカネマンテマの発芽条件の解明、栽培技術の開発について、試験的に実施	

※その他、(社)日本植物園協会の加盟園にて、北岳や鳳凰山の固有種等の高山植物の系統栽培が実施されている。

表Ⅱ－2－7 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧

－普及啓発など(H23－H25)－

○平成23年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
芦安ファンクラブ	北岳		キタダケソウ観察会	一般参加募集による北岳登山とキタダケソウ等の高山植物観察会	

○平成24年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
芦安ファンクラブ	北岳		キタダケソウ観察会	一般参加募集による北岳登山とキタダケソウ等の高山植物観察会	
南アルプス食害対策協議会	高遠中学校及びび長谷中学校		資料による啓発活動	防鹿柵の設置の経緯、ニホンジカによる食害の状況を集団登山を控えた中学生に説明することにより、地域の置かれた現状を早い時期から認識してもらうため。	
	阿南第一中学校、喬木中学校		資料の送付	同上	

○平成25年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
芦安ファンクラブ	北岳		キタダケソウ観察会	一般参加募集による北岳登山とキタダケソウ等の高山植物観察会	
静岡市 清流の都創造課	千枚小屋周辺	約400m	防鹿柵(ネット)	高校生対象としたセミナーとして設置	
南アルプス食害対策協議会	高遠中学校		資料による啓発活動	防鹿柵の設置の経緯、ニホンジカによる食害の状況を集団登山を控えた中学生に説明することにより、地域の置かれた現状を早い時期から認識してもらうため。	
南アルプス食害対策協議会	阿南第一中学校、喬木中学校		資料の送付	同上	

表Ⅱ－２－７ 平成23～26年度における各機関の事業の実績一覧
 －普及啓発など(H26)－

○平成26年度実施

実施機関	実施場所	延長・面積	工法・手法	目的	課題等
芦安ファンクラブ	北岳		キタダケソウ観察会	一般参加募集による北岳登山とキタダケソウ等の高山植物観察会	
芦安ファンクラブ・芦安かたくりの会	芦安地区(御使川)		抜き取りによる外来種の除去	一般参加募集によるピロードモウズイカの駆除活動	
静岡市 清流の都創造課	千枚小屋周辺	L=600m	①季節型防鹿柵整備(L=350m) ②季節型防鹿柵拡張(L=250m)	①市委託事業 ②高校生を対象としたセミナーの一環で設置	
南アルプス食害対策協議会	林道南アルプス線沿い	約10km	抜き取り、刈取りによる外来植物の除去	高山帯への外来植物増加防止、及び啓発活動	林道沿いに限定された活動範囲 対象除去植物の決定
	集団登山対象中学校(5校)	構成4市町村内	中学生への勉強会、またはパンフレット配布	信大教授等による食害対策授業の開催 パンフレットの送付による集団登山授業への活用	集団登山前の日程調整
	啓発ポスター制作	200部	中学生の図案をもとに制作	一般への啓発活動	宿泊施設、山小屋等への掲示依頼